

令和4年度の学校評価

本年度の重点目標	自ら進んで仲間と共に夢の実現に取り組む生徒を育成する。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務	P T A 活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幸凜祭(文化祭・体育祭)においてP T A主催行事を実施し、行事の活性化の一助を担う。</li> <li>・ 駅伝・マラソン大会においてP T Aで支援行事を行う。</li> <li>・ 保護者に学校行事への参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化祭において、P T A主催のアイスクリーム販売を行い、行事を盛り立てる役割を果たした。</li> <li>・ 体育祭において、P T Aから飲料水を提供し、熱中症予防の一助とした。</li> <li>・ コロナ禍で中止されていた体育祭での保護者の参観を限定的に実現した。</li> <li>・ 駅伝・マラソン大会後に支援行事として「豚汁・お汁粉会」を実施することができた。</li> </ul>
	情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報「菱の実」、KOHTANEWS、を定期的に発行し、教育活動、生徒の実績や成果等を発信し、中学生や保護者に学校の魅力を伝える。</li> <li>・ 一斉メール「学校安心メール」を活用し、生徒、保護者との連絡を密にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報「菱の実」を定期的に発行し、KOHTANEWSを中学校に向けて作成することで、本校の教育活動、部活動の実績等を地域、中学校に発信できた。</li> <li>・ 「学校あんしんメール」の活用で、保護者への連絡を密にすることができた。</li> </ul>
教務	観点別評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新学習指導要領に基づく年間学習指導計画(学習指導マネジメントシート)と評価の関連について研究する。</li> <li>・ 観点別評価について、学校としての申し合わせ事項を確立し、明瞭な評価ができるような流れを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新学習指導要領に基づく年間学習指導計画(学習指導マネジメントシート)については各教科工夫しており、次はP D C Aサイクルを生かすことができるようにしたい。</li> <li>・ 観点別評価について、学校としての申し合わせ事項を確立した。しかし、絶対評価や評価の目安など、改善点もあり、引き続き取り組みたい。</li> </ul>
	全日制・単位制の単位認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修得不認定、履修不認定に関する申し合わせ事項を確立する。</li> <li>・ 単位制に移行したことによる、今まで通りにいかない不具合を修正できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修得不認定、履修不認定に関する申し合わせ事項を話し合うことはできたが、決定には至っていない。今年度に関しては個別に判断し、流れを作っていくたい。</li> <li>・ 単位制による変化が、今年度はあまり感じられなかったが、来年度からの授業展開等、考えられることは早めに対応するようにしたい。</li> </ul>
生徒指導	欠席、遅刻の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欠席・遅刻・早退防止キャンペーンを4月・1月に実施し、生徒の意識を高める。</li> <li>・ 遅刻0の日・週間を設定し、遅刻した生徒には振り返りシートを用いた個別指導を行う。</li> <li>・ 全校集会・学年集会等の機会に、欠席や遅刻の状況を生徒に伝え、特に遅刻防止を訴える。</li> <li>・ 「遅刻記録カード」を活用し、不注意遅刻の回数に応じて段階的指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導、不注意遅刻の回数による段階的指導は行っているが、遅刻数は依然として多い。</li> <li>・ 遅刻を繰り返す生徒には、指導するとともにその後のフォローや声掛け、励ましを行い、時間を守ることや生活習慣の大切さを自覚できるようにさせたい。</li> </ul>
	交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部講師による交通安全講話を12月に実施し、生徒に安全意識を促す。</li> <li>・ 通年で立番指導を行い、登下校の自転車運転マナー、通学マナー向上に努める。</li> <li>・ 7月・12月にP T S交通安全運動を保護者、教員、生徒が協働で行い、登校する生徒に安全意識を訴える。</li> <li>・ 4月・10月に自転車点検を行い、安全管理の徹底と安全運転の啓発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通事故件数が昨年度に比べて多く、生徒にはより注意喚起を促したい。事故のほとんどが自転車と車の接触で、見通しが悪いT字路で起こっているため、具体的な危険箇所も示していくようにしたい。</li> <li>・ P T S交通安全運動、立ち番指導は予定通り実施できた。今後も生徒の安全、通学マナーの意識付けとして行っていくたい。</li> </ul>
	良好な人間関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめや人間関係のトラブルの早期発見、早期対応に努める。</li> <li>・ 6月・10月・1月に実施する「困っていることの調査」の結果から情報共有・対策・問題解決等を図る。</li> <li>・ 問題発生時に、「いじめ・不登校対策委員会」が現場の指導チームと連携する。</li> <li>・ 情報モラル講座を全学年に対して実施し、インターネットやSNSの安全な使い方を学ばせ、トラブルの未然防止に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担任の先生を中心に、困っていることの調査時だけでなく、生徒の相談を聞いてもらうことで大きな人間関係のトラブルを防ぐことができていく。</li> <li>・ インターネット上のやり取りについては今後も重大な人権侵害やトラブルが起こる可能性があり予断を許さない。誰もが予期せず被害者や加害者になってしまうことを知識としても正しく伝え、引き続き生徒への啓発を行いたい。</li> </ul>
進路指導	企業見学や学校説明会を利用した進路研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次のバス見学会や学校説明会を通して、高校卒業後の進路について理解を深め、11月の類型選択に向けて自分の進路を考えさせる。</li> <li>・ また、高大連携事業や進路ガイダンスなども活用し、ミスマッチのない進路選択を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス見学会及び学校説明会は予定通り実施。進路への理解増進、進路決定に向けた支援として有効に機能した。</li> <li>・ また高大連携事業も予定通り実施できた。</li> <li>・ 次年度は高大連携事業の参加者を増やしたい。</li> </ul>
	3年間を通じた進学、就職指導計画の見える化及び共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進学就職それぞれについて、3年間を通じた指導内容を一覧にし、それを共有することで、穴のない、経験によらない、質の高い進路指導を実現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画自体は完成させ、共有したが、内容に具体性が欠けていた。</li> <li>・ 教員の資質によらず、だれでも同じ指導ができるように内容の詳細化を図りたい。</li> </ul>

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保健相談	心身の健康管理能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に働きかけ、心身の健康維持・管理・増進に努めさせる。</li> <li>・心身に問題を抱える生徒を早期に把握し、適切な相談体制で対応する。</li> <li>・特別に支援が必要な生徒は、個別に支援計画を作成し、学校と家庭の協力体制で臨む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策について生徒へ説明し、個人で対策ができるように意識させた。</li> <li>・心身に問題を抱える生徒について、学年、担任と情報共有をし、スクールカウンセラーにつながることができた。</li> <li>・特別支援教育委員会を年3回実施し、情報共有した。</li> </ul>
	教育環境の整備・美化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別、減量化、清掃の徹底を図り、校内美化を推進する。</li> <li>・教室内整備、ワックスがけ等を通して、生徒の環境美化意識を高める。</li> <li>・校内諸施設の状況を把握し、安全な環境づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校あげてのワックスがけを実施した。普段できない特別教室なども実施した。時間をもう少し確保し、今後も実施していきたい。</li> <li>・清掃等の徹底により、環境美化意識の高揚につながった。</li> <li>・生徒棟トイレが新しくなり、清掃手順を示しきれいな状態で使用されている。</li> </ul>
特別活動	生徒会行事の活性化と地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会の各行事において、生徒による運営を強化し、生徒同士で協力する体制を整える。また、地域ボランティアに積極的に取り組み、地域の活動を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸凜祭において、今年度から縦割りの団活動を取り入れた。先輩が後輩を指導、支援するようになったことで、生徒が主体的に運営する学校行事の形に近づけることができた。</li> <li>・地域ボランティアに積極的に参加する生徒が増えてきた。</li> </ul>
	部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校、中学校などと交流を深める。</li> <li>・部活動で自分の価値を知ることができる活動を行うことによって自己肯定感を高める。</li> <li>・限られた時間の中で上達できるように、量から質へと意識を改革する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球部、陸上部、水泳部、弓道部、吹奏楽部は県大会に出場し、文芸部は全国大会3位の好成績を収めた。</li> <li>・その他の部活動も精力的に活動しており、全部活動が質を重視した練習を実践し始めている。</li> </ul>
第1学年	基本的な生活習慣、充実した学校生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、返事、言葉遣い等の礼儀作法や身だしなみに関する指導を継続する。</li> <li>・部活動に主体的に取り組みながらも家庭学習の時間を確保できるよう、時間の使い方を工夫させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活、行事等に際して継続的な礼儀や身だしなみに関する指導をしてきた。また、部活動や家庭学習についても多くの生徒が両立させ、時間の使い方を工夫できている。</li> </ul>
	進路研究と進路学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの適性、志望に応じた進路目標を定められるように進路に関する情報提供をする。</li> <li>・類型選択も含め、自分の将来設計についての考えを深められる機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部主体の進路学習に加え、学年主体での類型選択の説明会やキャリア講話などを行ってきた。来年度に向けて、より進路に対する個々の意識を高めていきたい。</li> </ul>
第2学年	社会で通用するための基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、返事、言葉遣い等の礼儀作法や身だしなみに関する指導を継続する。</li> <li>・生徒自身に計画・運営を行わせる場面を多く取り入れ、物事に対する主体性を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年集会や進路別のガイダンスなどの行事をきっかけに社会人としての心構えを啓発することができた。最終学年に向けて、自ら考え行動することができる自己指導力を向上させていきたい。</li> </ul>
	進路に応じた確かな学力をつけるための学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの適正、志望に応じた進路目標を定められるように面談を行い、適切な助言や情報提供をする。</li> <li>・日々の授業と並行して、生徒の学力に応じた課外学習を行い目的意識を持って学習に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に関しては、科目選択を可能とした朝課外を実施し、一定の効果をあげることができた。一方で自己実現に向けての意識が低い生徒も一定数いるので、面談や声掛けを継続し前向きに努力ができるよう支援していきたい。</li> </ul>
第3学年	社会で必要とされる力を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間厳守を徹底させ、欠席・遅刻・早退をなくしていくとともに、言葉遣いなどの礼節を大切にさせる。</li> <li>・ビジネスマナーの授業を通して、就職希望者を中心に挨拶や身だしなみを整えさせる。キャンペーンを通して、学年をあげた取り組みに発展させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期以降、最高学年としての自覚と責任をもった生活をするように啓発をしてきた。また、就職希望者を中心に挨拶や身だしなみの指導を行うとともに、社会人として身に付けるべきマナーの講座などを実施することができた。</li> </ul>
	進路実現に向け、必要な学力の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身による進路研究と担任面談を組み合わせ実施し、志望先に向けた個別の学習計画を主体的に考えさせる。</li> <li>・習熟度別授業や個別指導を行い、目的意識を持って学習に取り組ませる。</li> <li>・卒業だけでなく、進路先でどのような生活を送るのかを具体的に考えさせることで、主体的に行動できるように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦入試において、国公立校への合格者を出すことができた。また、生徒や保護者の希望に沿ったかたちで多くの就職内定をいただくことができた。生徒自身で、個別の進路に合わせた計画を立て、学習に取り組むことができている。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全般でキャリア教育活動を推進する。</li> <li>・アクティブラーニング導入等による授業改善をする。</li> <li>・何事にも「元氣 根氣 やる気」の姿勢で取り組み、豊かな人間性を育成する。</li> <li>・勤務時間の適正な管理を行い、1か月間の時間外労働が80時間を超える教職員に対して、そのつど面接指導の希望の有無について確認を行い教職員の健康障害の防止を図る。</li> </ul>	